

学長挨拶



Dr. Andreas Mailath-Pokorny
© PID David Bohmann

ウィーン市立音楽芸術大学は、音楽芸術分野において、教育と研究を通して世界を先駆ける教育機関であることを目標にしています。一流の指導者と、地元および世界各国から集まる優秀な学生たちに、最高水準の学習環境を提供することを目指しています。

ウィーンは毎年、世界で最も住みやすい都市の一つとして高く評価されています。本学を所有するウィーン市は、ウィーンが誇る音楽と芸術の伝統を次世代へと継承していくために、最良の環境を提供しています。

学際的な交流、そして教育と研究における相互のコミュニケーションは、本学の教育理念の根幹をなすものです。また、高い教育水準を維持するための評価制度を通して、学生一人ひとりが大学の教育理念に基づき、継続的に成長できる環境を整えています。

ウィーン市の恵まれた環境と支援のもと、ウィーン市立音楽芸術大学は、さらなる教育・研究の発展と充実を目指しています。

ウィーン市立音楽芸術大学 学長
Dr. Andreas Mailath-Pokorny

大学の概要

1945年にウィーン市によって設立されたウィーン市立音楽芸術大学（MUK）は、2005年に国際基準に準拠した大学として認定されました。

大学の主要キャンパスは、ウィーン国立歌劇場、ウィーン楽友協会（黄金のホール）、ウィーン・コンツェルトハウス、アン・デア・ウィーン音楽劇場などに囲まれた、ウィーンの音楽・芸術の中心地に位置しており、一流の音楽家や芸術家との交流や共同活動、実際の舞台を通じた実践的な学びに恵まれた環境を提供しています。

音楽、音楽劇、ダンス、演劇の分野において、多様で総合的な教育を提供し、30以上の学士課程および修士課程をはじめ、さまざまな教育プログラムを設けています。

50か国以上から集まった約850人の学生が、約280人の指導者のもとで学んでいます。充実した専門教育により、毎年約150人の学生が卒業し、世界的に活躍する多くの優れた芸術家を輩出しています。



入試情報

ウィーン市立音楽芸術大学では、30以上の学士課程、修士課程、博士課程のほか、準備コースや各種専門プログラムを設けています。学士課程は原則として8学期、修士課程は4学期で修了し、いずれも入学にあたっては入学試験を受験し、合格する必要があります。

入学試験および出願についての詳細は、下記をご覧ください。

www.muk.ac.at/en/application/registration-for-entrance-examination

学部紹介

ウィーン市立音楽芸術大学は、音楽学部と舞台芸術学部の2つの学部から構成され、現在850人を超える学生が在籍しています。

音楽学部

- **鍵盤楽器・指揮・作曲科:** ピアノ、アコーディオン、オルガン、コレペティートル(修士)、リート・オラトリオ(修士)、オペラ・コレペティートル(修士)、作曲、指揮
- **弦楽器科:** ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ、ギター、室内楽(専門プログラム)
- **管楽器・打楽器科:** フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソ、ホルン、トランペット、トロンボーン、チューバ、リコーダー、打楽器
- **ジャズ科:** ジャズ・ピアノ、ジャズ・ベース、ジャズ・トランペット、ジャズ・トロンボーン、ジャズ・サクソ、ジャズ・ドラム、ジャズ・ギター、ジャズ・ヴォーカル、ジャズ作曲・アレンジメント
- **古楽科:** チェンバロ、バロック・ヴァイオリン、バロック・チェロ、ヴィオラ・ダ・ガンバ、バロック・コントラバス、リュート、リコーダー、フルート・トラヴェルソ、古楽オーボエ、古楽ファゴット、古楽鍵盤楽器、古楽声楽

舞台芸術学部

- **声楽・オペラ科:** 独唱、リート・オラトリオ(修士)、オペラ(修士)、クラシック・オペレッタ(専門プログラム)
- **ミュージカル科:** ミュージカル(学士)
- **演劇科:** 演劇(学士)
- **ダンス科:** コンテンポラリーダンスとクラシックダンス(学士)、コンテンポラリーダンス教育(学士)

学部横断型プログラムおよび専門教育

- **器楽・声楽教育学 (IGP) 学士課程**
高度な演奏・歌唱の実践と、教育学および学術的研究を組み合わせ、優れた芸術性と教育能力を兼ね備えた音楽教育者を育成するための学士課程です。さまざまな音楽スタイルや学際的な実践を取り入れ、ウィーン市の音楽学校とも緊密に連携しています。卒業後は、音楽学校や高等教育機関、またフリーランスの音楽指導者として活動するための資格を得ることができます。
- **Master of Arts Education (MAE)**
芸術教育の主な目的は、現代を生きる芸術家を育成するとともに、将来の音楽・芸術界を担う優れた教育者を養成することです。芸術と教育の両面から、ウィーンが誇る豊かな芸術の伝統を次世代へと継承していく人材を育成します。
- **Certificate of Performance (CoP)**
2学期で修了する、学位取得を目的としない専門育成プログラムです。
学生一人ひとりが自ら選択したテーマや専攻分野に集中して取り組み、短期間で演奏・歌唱技術と芸術性をさらに高い水準へと高めることを目的としています。
- **芸術研究博士課程 (PhD) Künstlerisch-wissenschaftliches Doktoratsstudium/Artistic Research**
芸術実践と学術研究を融合する「Artistic Research(芸術研究)」を中心とした博士課程です。
現代演劇、演奏・解釈研究、作曲・音楽理論、芸術教育、パフォーマンス・アート、コンテンポラリーダンスなどの分野において、学際的、実験的かつ革新的な研究を行います。
芸術家としての高度な専門性と、自立した研究能力を兼ね備え、国際的に活躍できる芸術家・研究者の育成を目的としています。